

年の瀬の雪 12月31日

先日(12/18)に65cmの積雪を観測したがクリスマスまでにはすっかり融けました。年の瀬を迎えてまた少し雪が積りました。竹之高地で年末の今朝の積雪は35cmでした。木の枝に雪が付き、時折見える青空に白く映えていました。冬の竹之高地ではなかなか青空を見る事ができません。子供の頃から曇天の暗い空から雪が降るいやなイメージが強い。この通信に載せる写真には青空のある風景を撮りたいと心がけていますが・・・。

不動滝 木々の枝に雪が着き白く幻想的な景色です。滝の上に不動様があるのですが見えますでしょうか。



不動社



不動滝



社務所前

雪下大根の収穫 12月31日

正月の雑煮用に山の畑で掘り出した、雪下大根です。特大から極小のバラエティに富んだサイズの大根が収穫できました。とてもみずみずしく美味しくいただきました。



ふきのとう見つけた 12月25日

水路脇で『ほーきんと』がでていました。12月に入って気温の高い日は何日かあったせいか、土の中から顔を出しているのを見つけました。



根雪となるか 12月18日 竹之高地で積雪65cm

12/18 朝竹之高地に向かって、トンネルを出るたびに雪の量は増し、濁沢で30cmの積雪、不動社周りでは65cmでした。道路の除雪状態は良く、軽自動車でも問題なくムラの一番奥まで行くことができます。



新しい道路と昔からのゴヘイさんの前の道路は冬季間も除雪されております。積雪が4mもあった昭和の時代に比べれば、昨今は3mを超えることが珍しくなりました。厳冬期でも軽乗用車で難なく竹之高地に行けます。これからもこの山の雪景色をみて、楽しみを見つけていきたい。

竹之高地の家は雪おろし作業を少なくするため、近年建築の住宅は自然落下式屋根を採用しています。不動様も自然落下です。また不動様には雪が落ちるところに融雪用の水を引き、池（タネンゴ）があるので、雪がたまらず消えてしまいます。以前のように雪下ろし作業で苦勞することが少なくなりました。

**雪の季節到来** 12月7日

竹之高地で初雪を観測

不動様の付近でも2～3cmの積雪を見ることができました。長岡の市街地ではみぞれでした。朝9時頃には雲が切れ、太陽が見えた時には、葉が落ちた木の枝から雪がチラチラと舞い落ちる様子は、何とも言えない幻想的な景色でした。お日様に照らされたところから雪は消えてなくなりました。

**椿の花が咲いた** 12月11日

鋸山、猿倉岳の山の初雪は11月10日に観測されました。この後鋸山・枅形山・猿倉岳は3回積雪が観測されたが、竹之高地のムラに雪が降ったのは12月7日でした。

今年は寒暖の差が大きく、植物が春と勘違いしたみたいで玉吉家の椿が花をつけました。一輪だけ開花していたが周りには2個赤く膨らんだつぼみを見つけることができました。昨年末はフキノトウがでていましたね・・・。

